



島教協

《 すべては「子供たちのために」 》

情 報

http://
www.kyougikai.orgE-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 安達利幸 編集人 石原康博 No.592

島教協 第一回 執行委員会開催



四月二十七日(土)、ビッグハート出雲にて今年度第一回の島教協執行委員会が開催された。十九年度の活動報告と二十年度の活動計画について審議され、承認を得た。

安達利幸会長は、「今の教育はどうなるのかを見据えて、子供達のための要望改善、諸問題の解決のための活動を行っていききたい。そのためには組織の拡大に力を入れていく必要がある。」と話があった。

島教協の定期総会は、五月三十一日(土)に開催の予定である。

出教協 第一回代表者会 開催

五月九日(金)、ビッグハート出雲にて、出雲市教職員協議会の第一回代表者会が開かれ、各学校・園の代表者が出席した。

冒頭、山崎美重執行委員長から、「これまで出雲市外での勤務が多く、なかなか活動に参加できませんでした。みなさんと一緒に組合活動を盛り上げていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願ひします。」と挨拶があった。その後、十九年度決算と二十年度の活動計画、予算について審議がなされ、承認を得た。

出教協の定期総会は、五月二十四日(土)に開催の予定である。

また、総会后には、倉敷市立短期大学教授の平山諭氏を迎えて教育講演会が行われる。午後一時からは、文化厚生部主催の食事も予定されている。

◎参加希望、問い合わせは事務局までお願いします。

第一回 講師研修会



四月二十七日(日)、島根県教育文化研究所は、第一回講師研修会を開催した。

最初に、今年度新規採用者から、勉強の仕方など丁寧な話をしていた。次に、所長から「島根の求める教師像」について講話があった。また、事務局長からこれまでの自分を振り返って、どうやってモチベーションを保つかといった話があった。

採用試験 年齢制限の上限を引き上げ!

五月七日(水)に、県教委が発表した二十一年度公立学校教員採用候補者選考試験実施要項によると、すべての区分において年齢制限の上限が引き上げられた。

今回の年齢制限の変更により、すべての区分で昭和三十九年四月二日以降出生者となった。採用予定者は昨年並みと見られ、受験者にとっては昨年に続くチャンスとなる。

教文研は、今年度も採用試験突破を目指す方々のサポートをしつかり行いたいと思います。

第三回講師研修会 六月二十二日(日)

詳細は別紙

全日教連 要望活動 結果報告

四月二十三日（水）、全日教連は第一次中央要請行動として、文部科学省に対して文教予算等に関する要望を行った。

《要望項目》

- 1 教育専門職にふさわしい給与・勤務条件を確立すること
- 2 地域間の格差が生じないように文教予算の確保と制度の確立を行うこと
- 3 全国における教育の機会均等と、教育水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、さらに充実した制度を確立すること。

《意見及び回答》（一部を掲載）

○教員免許更新制について
（全日教連）

地方は給与の大幅カットとなり、厳しい現実に直面している。それが教員の意欲低下につながる恐れがあるので、教員の負担にならない配慮が欲しい。また、講習を受ける際、教員の勤務形態はどのような扱いとなるのか。

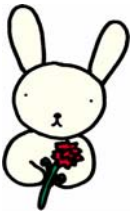
（文科省）

解説は土・日、長期休業等を考えている。長期休業については、職専免の扱いとなる。費用の個人負担については、国の都合で制度を導入したということからも、平成二十一年度の概算要求に向けて、できるかぎり軽減できるような方向で考えていきたい。

新規加入！ ありがとうございました

原 拓さん（荒木小）

近藤佳菜子さん（高松幼）



用語解説「コーナー」①

聞いたことがあるけど、よく分からないという教育用語や注目されているものについて少し解説をしていきます。

「読書へのアニメーション」

読書活動の活性化が叫ばれ、読書活動の充実に努めている学校・園は多いことと思います。「読書へのアニメーション」はモンセラ・サルト氏が開発した読書の楽しさを伝え、子どもの読む力を引き出す読書指導の方法です。「アニメーション」は元気づけや活性化という意味です。本も出版されており、インターネットでもいろいろと情報が検索できます。読書指導に困っている方、ヒントが見つかるかも。

【専従の気になる言葉】

「『言語技術』が日本のサッカーを変える」より

「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならぬ。」

ロジェ・ルメール（元サッカーフランス代表監督）

紹介文 受付中

「学校紹介文」をFAXで随時受け付けています。学校・地域の紹介、研究発表・実践紹介などを掲載し、現場の様子、会員の皆様の様子を伝えていきます。より多くの現場の様子を伝えるためにも、ご協力をお願いいたします。

学校紹介

出雲市立高松小学校

高松小学校は、出雲市西部にあります。児童数は（平成19年度）593名。子ども達の元気いっばいの笑顔と明るい歌声に満ちた学校です。大梶七兵衛が招いた高瀬川、また井上恵助が植林した浜山という、すばらしい先人の業績は地域の人々と本校の子ども達の誇りであり、さまざまな学習でその精神を受け継ごうと努めています。また、地域から学校へ力強く温かいご支援もたくさんいただいています。見守り励ましていただくことに感謝しつつ、いきいきとのびていく子どもづくりをめざしています。